

# おばらふくし ビレッジだより

～幸福(しあわせ)届ける～

発行/おばらふくしビレッジだより編集委員会

〒470-0564 愛知県豊田市沢田町座内22番地

知的障害者援護施設  
小原寮

## 祝祷会で 作品販売

一月一日・

二日の二日

間、法音寺の

一角をお借り

して、小原寮

の利用者が

作った自主製品の販売をさせて



祝祷会の様子

## \*皆様の

## おかげです\*



みたいから。」と、コーヒーカップを選んでいらつしやったご夫婦がおられました。「あなたは、こっちの方がいいんじゃない。」「そうだな。こっちにするか。」と、とても仲睦まじい様子に、寒空の下で冷えた身体を、春風のような暖かい雰囲気包んでくれたような思いでした。  
なお、売上げは二日間で十万二千円にもなりました。

皆様方のご協力を心から御礼申し上げます。

いただきました。

『しいたけ』『陶芸作品』『和紙のハガキ』『干支の置物』が主な商品です。

「このハガキは、墨がよく伸びてとても書きやすいのよ。」と、和紙のハガキをお買い求めくださった方、「毎年楽しみにして買わせてもらっています。」と、陶芸品をお買い求めくださった方がおられました。また、「一緒にコーヒーを飲



# 知的障害児施設 小原学園

学校が休みになり、利用者さんたちが楽しみにしている冬休みは、楽しいことがたくさんありました。おでかけしたりおいしいものを食べたりと皆で楽しく遊びました。



雪まみれ～(>\_<)

今年もセンター試験の日に大雪が降りました。「寒い」と言っているのは大人ばかりで、利用者さんたちは大喜びです。「小原に来てよかったー！」と雪だらけになって遊んでいました。本当に子どもは風の子ですね。

冬休みは楽しいことがいっぱい！

## リトルワールドへ 行ってきたよ♪



平成二十三年の始めに新年会をやりました！みんな楽しくカルタ取りをしたり、とっても美味しいすき焼きを食べたり楽しいひとときを過ごしました！

## 次こそ僕が取ると～！！



## 響け！ 僕たちの太鼓演奏

一月十六日に豊田市美里の生涯学習センター美里交流館で行われた「小・中学生意見発表会」で利用者さん達が太鼓を披露しました。この日のために皆で練習し、練習後には反省会も行い、「次はもっと大きな声で！」と皆で確認し合って頑張ってきました。意気込みも気合も十分で沢山のお客さんの前で立派に太鼓を叩くことが出来、演奏後に大きな拍手をもらいました。また、二月十九日には、法人主催の福祉セミナーでも披露しました！



元気いっぱい！  
かいっぱい演奏したよ☆

## ボランティアさん いつもありがとうございます！

たくさんさんのボランティア、ご協力に感謝致します。

- ・ Mフレンズの皆様
- ・ クリスマス会
- ・ 玉越様
- ・ お菓子の寄贈
- ・ 中京大学児童福祉活動部
- ・ 人形劇講演
- ・ 小川利幸様
- ・ クリスマスツリー
- ・ 豊田ボランティアセンター様
- ・ 貯金箱
- ・ トヨタ自動車の皆様
- ・ 小原地区民生委員様
- ・ 清掃活動
- ・ サンアミューズメント様
- ・ クリスマスブーツ
- ・ 加藤聡子様
- ・ お菓子の寄贈
- ・ 小川商店様
- ・ 学用品
- ・ C B C チャリティ募金様
- ・ 車両購入助成

(順不同)



# 副理事長 コラム

## 社会福祉法人 昭徳会

### 副理事長 鈴木正修

(大乘山法音寺・副山首)

この地球上の生命はすべて細胞からできています。この細胞説が発表されたのが一八三八年、今から百七十年前です。

シュライデンとシュワンのいう二人の学者によるこの研究は、当時の生物学者たちを狂喜させました。これでいよいよ生命の不思議が解けると思われたからです。しかし。現代科学をもってしても、未だにたった一つの細胞も創り出すことはできません。

遺伝子研究の第一人者、筑波大学の村上和雄先生によると、宇宙に細胞が一個偶然に生まれ

る確率は、毎回宝くじを買って一億円が何万回連続で当たるとらいのと同じでもない稀な確率だそうです。そういう細胞というものがあるのが六十兆個も集まって調和しているのが私たち人間なのです。

一つの思いが浮かびます。私たちがとてつもない宝物(命)を天から賜っている。せっかくのこの宝物を大切に、価値を十分に発揮させ、最後には賜った時以上のものにして天に報いるべきではないかと。

# インフルエンザ 流行中

小原 寮

発熱をきっかけに近くの診療所にかかったら、新型インフルエンザ陽性の連絡が入りました。

偶然にも、その日は、全員出勤の日で大助かりでした。すぐ、一斉検温をし、各棟にマスクと消毒液を配布しました。すると、まー、出るわ出るわ高熱者が。乙ケ林診療所に応援していた

だき、治療を開始しました。それが一月十二日の事でした。

十日間にわたって、インフルエンザ週間となり、全員で52名、疑い2名が判明しました。幸い、ひどい症状の利用者もなく、大事には至りませんでした。日中活動の停止で、イライラがつのり、メンタル部分のケアが必要となりました。

『手洗い』『うがい』は、日頃の合言葉になっていますが、今年の一月は勉強になった月でした。

■ 人混みなどから帰宅した際には、手洗い、うがいを行いましょう。

■ 流行時期は、概ね1月から3月です。

■ 咳などの症状を有する方が医療機関を受診する際は、必ずマスクを着用しましょう。

■ 高齢者の方(原則65歳以上)が、インフルエンザ予防接種を希望する場合は、予防接種法(定期の予防接種)の対象者として接種を受けることができます。

■ インフルエンザについて、疑問がありましたら、かかりつけ医に相談しましょう。

# 特別養護老人ホーム 小原安立

## ささゆり通りの お寿司パーティー

二月三日の立春の日、巷では豆を撒いたり太巻に嚙り付いたりする日ですが、ささゆり通りでは昼食に江戸前の握り寿司でパーティーを開きました。

酢飯やネタを準備し、握って寿司盛台に乗せました。普段はあまり食の進まない方もお寿司では食欲旺盛でした。お代りでは「マグロ一丁！」と声がかかる



しゃもじで切るように酢飯を混ぜます。



ちよいとつまんで、いただきます。

「へいお待ち！」と応えました。お腹一杯お寿司を食べて、皆大満足の節分の日でした。

## 回想法 そろばんの はじき方

回想法の一環として、「そろばん」の使い方や使用用途などを利用者の方に伺いました。その方は家で商売をされていたり、会社で事務をされていたりで、よく使っていたそうです。でも、「私らの使ってたのは四つ玉だったよ」とのこと。下が五つ玉のそろばんは、もつと昔のものだったみたいです。



五つ玉のそろばんです。

# 高齢者グループホーム 小原安立

## ある日の出来事

グループホーム小原安立では、週三回「学習療法」に取り組んでいます。学習療法では、声に出して簡単な計算をしたり、文章を読んだり書いたりしています。

先日、読み書きドリルが終わり、七五三のお話をしている時

に職員が「七五三の時に食べるあめは何ですか？」と尋ねると普段は尋ねても「はあん、わしやー知らん。」と言うMさんが、急に「千歳あめ！」とタイミン

グ良く言われたので、みんなびっくり大爆笑。Mさんの手元を見るとドリルの千歳あめの絵を見ていたのでした。平均年齢八十九歳の利用者の皆様は、「できない。」「書けない。」等と言いながらも楽しんでそうに取り組んでいる今日この頃です。



計算問題を解いています。